

# Windows で保護された印刷モード(WPP) 機能利用時の重要なお知らせ

Microsoft 社は、Windows 11 version 24H2 及び Windows Server 2025 で新たな機能「Windows で保護された印刷モード (Windows Protected Print Mode ※以下 WPP)」を導入しました。  
この機能はセキュリティ向上のために設計されていますが、有効化すると**既存のプリンタードライバーや仮想ドライバーに重大な影響**を及ぼす可能性があります。

## 【WPP 機能を有効にした際の主な影響】

- **Microsoft 社製以外のプリンタードライバーが利用できない**  
WPP 機能を有効にすると、Microsoft 社製以外のプリンタードライバーを使用しての印刷が出来なくなります。
- **既存ドライバーの削除**  
WPP 機能を有効にすると、PC にインストール済みの全てのプリンタードライバーや仮想ドライバーが OS によって自動削除されます。
- **再インストールの必要**  
WPP 機能を無効に戻しても、削除されたドライバーは自動復旧せず、再度インストールし直す必要があります。WPP 機能を無効化した状態でドライバーの再インストールを行ってください。

## 【事象の発生条件】

以下の全ての条件を満たす事：

- **下記の対象 OS を使用している**  
Windows 11 version 24H2 以降、または Windows Server 2025  
※ Windows 11 version 23H2 以前、及び Windows 10 では影響を受けません。
- **WPP 機能を有効化している**  
WPP 機能の初期設定は「無効」になっています。これを「有効」に切り替えた場合に影響が出ます。

## 【WPP 設定箇所】

以下の手順で WPP 機能の有効・無効の切り替えが行えます。

1. スタートボタンをクリック
2. 設定 > Bluetooth とデバイス > プリンターとスキャナー
3. 「Windows で保護された印刷モード」の項目で設定を変更

## 【対象プリンター】

弊社が提供するプリンタードライバー、仮想ドライバーを使用して印刷を行っている以下のプリンターは全て対象になります。

- レシートプリンター
- ラベルプリンター
- モバイルプリンター
- フォトプリンター

## 【推奨対応】

- **WPP 機能の必要性を確認**  
必要がない場合は、初期設定（無効）のまま利用する事を推奨します。
- **復旧手順の確認**  
万が一ドライバーが削除された場合、以下の手順で復旧してください。
  - ・ WPP を無効に設定
  - ・ 必要なドライバーを弊社サイトからダウンロードし、再インストール

以上